

第19回法人会全国女性フォーラム北海道大会報告書

公益社団法人盛岡法人会女性部会

副部会長 川村 チエ子

2025年9月18日、第19回法人会全国女性フォーラムが「自然と女性の活力で笑顔いっぱい北海道～明日をつなごう！未来につなごう！～」をキャッチフレーズに、北海道札幌市「札幌パークホテル」で開催されました。全国から約1,600名の女性部会員が集結し、国税庁課税部長、札幌国税局長、札幌市副市長ら多数のご来賓をお迎えして盛大に行われました。また午前中には、大会に先立ち全法連女性部会連絡協議会「情報交換会」が行われました。

1. 情報交換会

村上会長ご挨拶の後「魅力ある女性部会にするために」をテーマに2つの討議について11テーブルに分かれディスカッションを行った。(1テーブルは8名ほどの人数)

(1) 討議1 女性部会員を増やすためには

①単位会の取り組み

- ・会員同士の企業訪問や会員自身の経験について話す機会を設けている
- ・セミナーは防災や健康など様々なジャンルから選択し、楽しくためになるセミナーの開催
- ・委員会活動に明確な目標と計画を入れ込み、その成果を委員会全体の喜びとそれぞれの成長につなげる（盛岡）

・入会案内は見て楽しさが伝わるようなパンフで会員を増やしている（盛岡・パンフ配布）

②今後の課題

- ・世代交代の時期と活動における若い世代との価値観の共有
- ・青年部会は女性も多いが50歳退会なので継続して女性部会への入会を勧める
- ・入会メリットや活動についてホームページ、SNS、QRコードなど時代に合った発信が課題

(2) 討議2 女性部会としての「食品ロス」削減の取組状況

今回活動が大きく前進した岡山県西大寺法人会女性部会は、紙芝居を使い学童や保育園で「食品ロス削減」を伝えているということが注目された。西大寺法人会女性部会は県内の学校へ紙芝居作成を依頼しコンペで今回の作品が決定したが、ここまで1年半の月日を要したことだった。ステージ上で紙芝居の内容が紹介され、今後他の単位会でも、この紙芝居をダウンロードし利用可能になる予定とのこと。

盛岡は食品ロス削減推進サポーター育成オンライン講座を受講し、現在30名近くのサポーター認定を受けたことを発表。同じテーブルでは受講者はいないようで、サポーターバッヂを見せたところ写真を撮る方もいた。

(3) 総括

異島相談役より「会員を増やすことに加え、活動を引き継ぐ会員の育成は企業と同じく現役員の使命であります。」との総括であった。

2. 大会記念講演会

㈱クリエイティブオフィスキューリー代表取締役 伊藤亜由美氏が所属タレント大泉洋氏とのエピソードや北海道産小麦にこだわったベーカリー事業を展開し、ストーリーあるプロデュースで北海道の魅力発信を続けている講演で会場は大いに盛り上がった。

3. 所感

今回情報交換会へ参加させていただき、世代交代や活動に関して盛岡は一步進んでいると感じました。食品ロス削減に関しても既に租税教室に取り入れており、1つの活動で2つのテーマを伝えることは効果的・効率的な方法だと思っております。また食品ロス削減推進サポーター認定者も30名近くとなり、会員の社会貢献活動へ対する参加意欲は他の単位会に劣らないと感じました。今回は全国の法人会女性部会の方と情報交換することで、盛岡法人会女性部会のすばらしさを再認識するとともに、今後の活動継続の方法を考えていく必要があると実感しました。

以上